

3 防水改修工事

1 アスファルト防水

2 合成高分子系ルーフィングシート防水

3 塗膜防水

4 脱気装置

5 シーリング

6 とい

7 アルミニウム製笠木

乾式保護材の材料 ※ 押出成形セメント板 厚さ15mm 製造所 評価名簿による。

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類 (厚さ mm)	仕上塗料等	使用分類
・ POS工法		・ S-1 (※ 1.2)	・ カラー	※ 非歩行
・ S4S工法		・ S-2 (※ 2.0)	・ シルバー	・ 軽歩行
・ S3S工法		・ S-3 (※ 2.0)	SSS工法の場合S-4は適用しない	
		・ S-4 (※ 1.5)		
・ M4S工法		※ S-4 (※ 1.5)		

二重ドレン (POS工法の場合) ※ 設けない 設ける
脱気装置 (S3S、S4S工法の場合) ※ 設けない 設ける

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上塗料等
・ POX工法		・ X-1	・ シルバー
・ L4X工法		・ X-2 ・ X-3	・ カラー

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装 (L4X工法の場合) 除去する
脱気装置 ※ 設けない 設ける

種類	材質	設置数量
・ 平面部	・ ポリエチレン樹脂 ・ ABS樹脂	・ ()
脱気型	・ ステンレス ・ 鋼鉄	m ² 当たり1箇所
・ 立上がり部	・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂	・ ()
脱気型	・ ステンレス ・ 鋼	m ² 当たり1箇所

シーリング改修工法の種類
・ シーリング充てん工法 ・ シーリング再充てん工法
・ 拡張シーリング再充てん工法
シーリング材の種類、施工箇所
※ 下表以外は、改修共仕表3.6.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

といの材質 ※ 配管用鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管

鋼管製といの防露 ※ 改修共仕表3.7.5による
・ 次の箇所は行わない ()
縦どい受け金物の取付け ※ 図示 ・ 共仕13.5.3 (d) による

ルーフトレンの製造所 評価名簿による

種類	板厚 (mm)	表面処理	固定間隔	下地補修
・ 100形	1.5以上	※ A-1又は	※ 1.3mm程度	※ 行う (図示)
・ 250形	2.2以上	B-1種		・ 行わない
・ 300形	2.5以上	・ B-2		
・ 350形	3.0以上	()		

板折曲げ形の取付工法 ※ 改修共仕表3.8.3 (b) の (1) ~ (5) による
・ 図示

[3.3.2] 4-1 外壁改修工事

[3.1.1] [3.5.3] [3.5.1] 2 ひび割れ部改修工法

[3.2.5] [3.6.3] 3 塗膜改修工法

[3.1.1] [3.6.3] [3.6.1] 4 脱気装置

[3.2.6] [3.6.3] 5 シーリング

[3.7.2] [3.1.2] 6 とい

[3.8.2] [3.8.1] [3.8.3] [3.8.4] [3.8.3] [13.5.3] [3.8.2] [3.8.1] [3.9.2] [3.9.3] [3.9.3] [3.9.1] [3.9.3]

4-1 外壁改修工事

1 施工数量調査

2 ひび割れ部改修工法

3 欠損部改修工法

4-2 外壁改修工事

1 施工数量調査

2 既存モルタル塗りの撤去

3 ひび割れ部改修工法

調査範囲 ※ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲
調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部

※ 樹脂注入工法

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備考
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※ 200 ~ 300	※	
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※ 50 ~ 100	※ 40	
	0.3以上~0.5未満	※ 100 ~ 200	※ 70	
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※ 150 ~ 250	※ 130	

注入材料 ※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JISA6024低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア抜取り) ※ 行わない 行う (抜取り部の補修方法:)

・ Uカットシール材充てん工法

充てん材料	品質・規格等	備考
・ シーリング用材料	※ 1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※ 行わない 行う 製造所 評価名簿による
・ 可とう性エポキシ樹脂	評価名簿による	

・ シール工法

シール材料	品質・規格等
・ パテ状エポキシ樹脂	評価名簿による
・ 可とう性エポキシ樹脂	

※ 充てん工法

充てん材料	品質・規格等
・ エポキシ樹脂モルタル	評価名簿による
・ ポリマーセメントモルタル	

調査範囲 ・ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲
調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ・ 2部

・ 行う (・ 全面 ○ 図示の範囲)

・ 既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、4 欠損部改修工法による)

※ 樹脂注入工法 (※ 既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備考
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※ 200 ~ 300	※	
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※ 50 ~ 100	※ 40	
	0.3以上~0.5未満	※ 100 ~ 200	※ 70	
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※ 150 ~ 250	※ 130	

[1.5.2] 4-2 外壁改修工事

[4.1.4] [4.3.4] 3 ひび割れ部改修工法

[4.2.2] [4.3.4] 4 欠損部改修工法

[4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] 5 浮き部改修工法

[4.1.4] [4.2.2] [4.3.6] a バラベット・軒天

[4.1.4] [4.4.2] [4.4.5] b 笠木

[4.1.4] [4.4.2] c 笠木・軒天

4-3 外壁改修工事

1 施工数量調査

2 既存タイル張りの撤去

注入材料 ※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JISA6024低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア抜取り) ※ 行わない 行う (抜取り部の補修方法:)

・ シール工法 (※ 既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面)

シール材料	品質・規格等
・ パテ状エポキシ樹脂	評価名簿による
・ 可とう性エポキシ樹脂	

・ 既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 (※ シール工法の範囲)

既存モルタル面の欠損部

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・ 充てん工法	ポリマーセメントモルタル	評価名簿による
・ モルタル差替え工法	改修共仕4.2.2 (a)による	塗厚25mmを超える場合の補強 ※ 行う 行わない 図示

吸水調整剤 製造所 評価名簿による
既製目地材 ・ 運用する (形状 ※ 図示)

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所 (箇所/m ²)		充てん量 (注入量)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ 16	・ 25			・ 25cc
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ 13	・ 20	・ 12	・ 20	・ 25cc
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ 13	・ 20	・ 12	・ 20	・ 25cc
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ 9	・ 16			・ 25cc
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ 9	・ 16	・ 9	・ 16	・ 25cc
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ 9	・ 16	・ 9	・ 16	・ 50cc

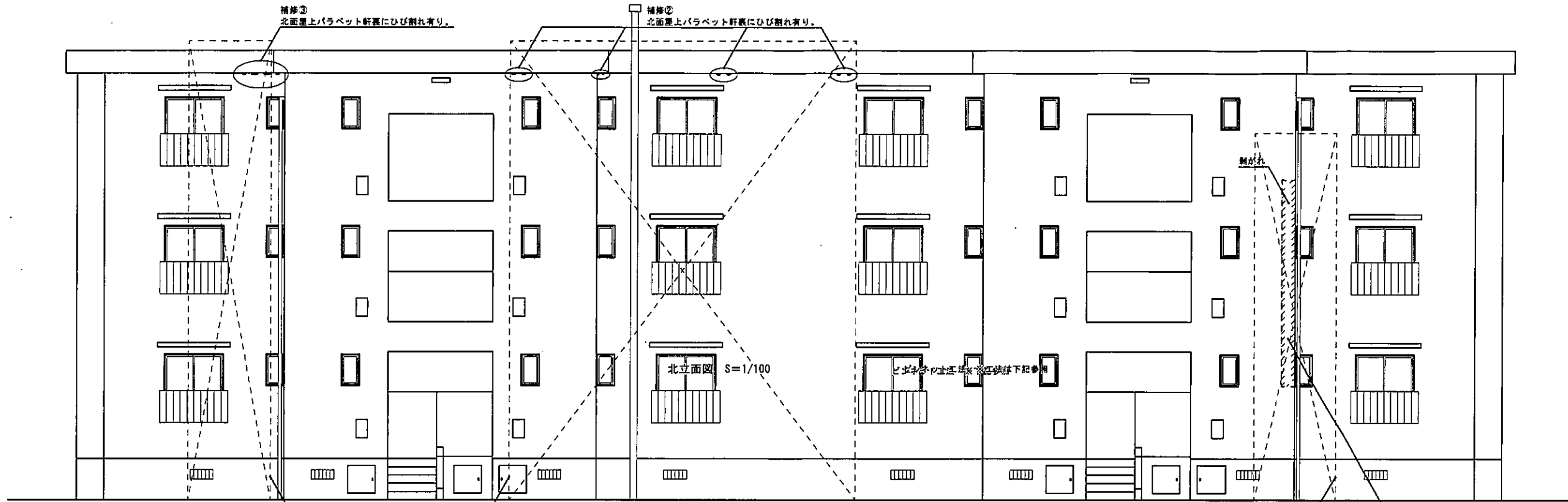
a バラベット・軒天 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入 (9本/m²)
材質 ※ ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。

b 笠木 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入 (5本/m²)

c 笠木・軒天 ピンネット工法 系-16.00~18.00 施工 ※ 下縁部分が変更箇所

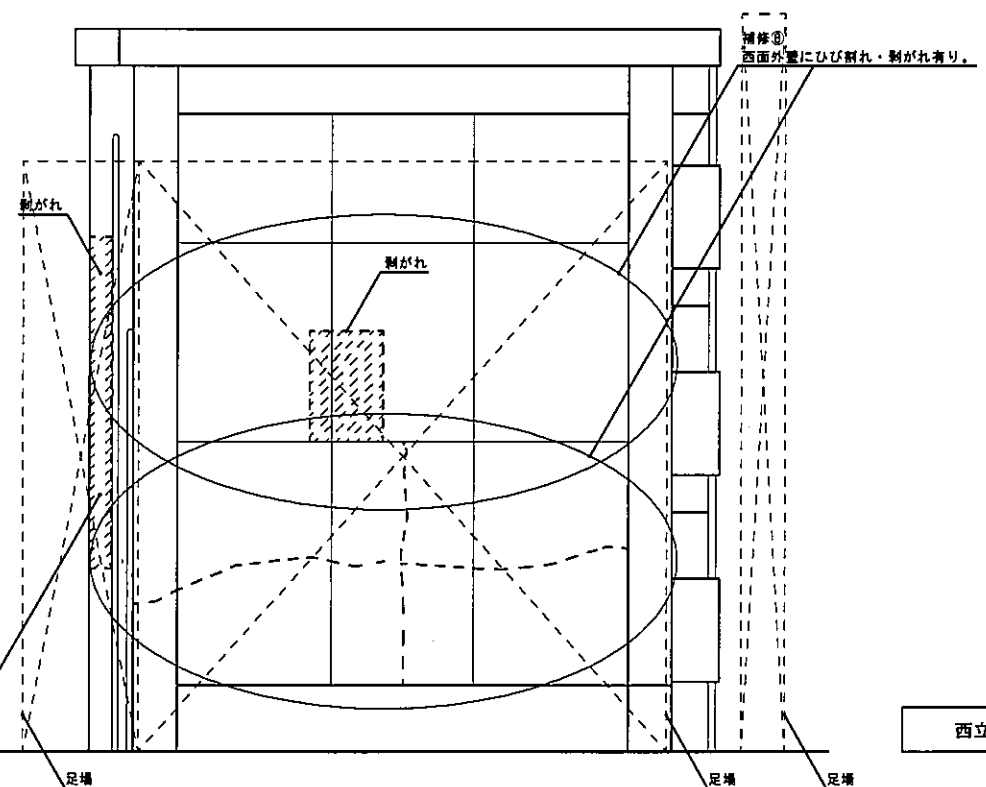
調査範囲 ※ 既存タイル張り面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲
調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、タイル張りの欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部

・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲
撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ



北立面図 S=1/100

外壁割れを示す。
足場を示す。



西立面図 S=1/100

外壁割れを示す。
足場を示す。

外壁補修①②③	
1	ケレン除去・水洗い高圧洗浄
2	笠木～軒天・モルタル浮き補修 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入
3	軒天軒先・パラペット下部 クラック補修 ポンドシーリング工法エポキシ樹脂注入
4	笠木～軒天・剥落防止補修 ピンネット工法 ※工法は下記参照
5	笠木～パラペット防水型高弾性塗料塗 (閉下地調整共) アロンウォールS.T.M.程度
6	軒天水性シリコン系外装塗料塗 (閉下地調整共) アロンウォールカラー程度

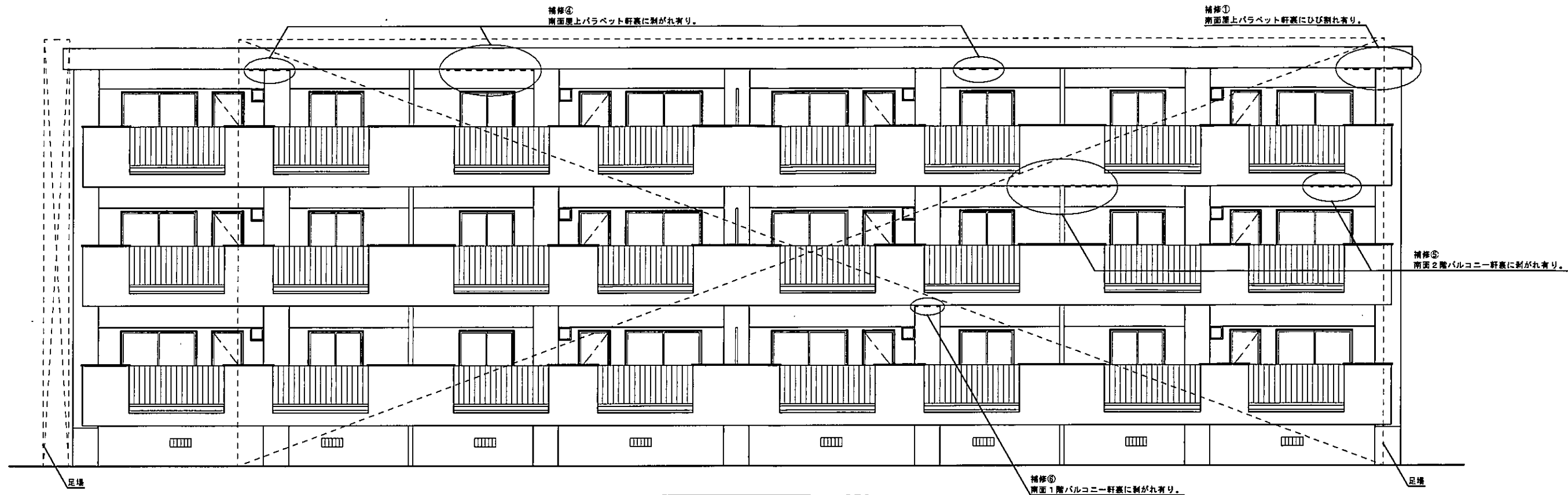
- ※ 4 ピンネット工法は以下の4工法による
- (1) ポンドカーボンネット工法
 - (2) ネットバリアー工法
 - (3) GNSスーパーピンネット工法
 - (4) タケモルピンネット工法

※下線部分が変更箇所

外壁補修④⑤⑥	
1	ケレン除去・水洗い高圧洗浄
2	軒天外部改修塗料塗 水性ケンエース程度 (閉下地調整共)

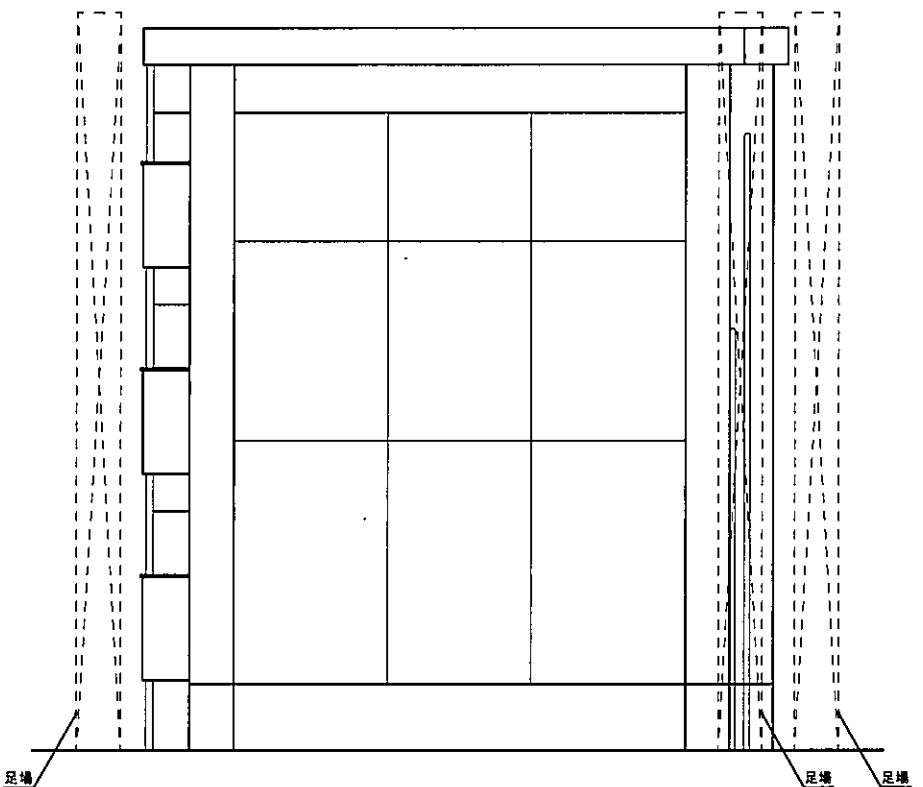
外壁補修⑦⑧	
1	ケレン除去・水洗い高圧洗浄
2	外壁可とう形改修塗料E塗 パーフェクトトップ共 (閉下地調整共)

附記:	工事名	尾鷲(部)南浦第四宿舍外壁補修工事	担当	製図	図面No. 9 / 10 枚の内
	図面名	北立面図・西立面図	縮尺 1 / 100	第四管区海上保安本部 総務部経理課	



南立面図 S=1/100

外壁割れを示す。
足場を示す。



東立面図 S=1/100

外壁割れを示す。
足場を示す。

(1) コニシ株式会社 ポンドカーボ

- 外壁補修①②④
- 1 ケレン除去・水洗い高圧洗浄
 - 2 笠木～軒天・モルタル浮き補修
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入
 - 3 軒天軒先・バラベットの下部 クラック補修
ポンドシーリング工法エポキシ樹脂注入
 - 4 笠木～軒天・剥離防止補修
ピンネット工法 ※工法は下記参照
 - 5 笠木～バラベットの防水型高弾性塗料塗
(同下地調整共) アロンウォールSTM程度
 - 6 軒天水性シリコン系外装塗料塗
(同下地調整共) アロンウォールカラー程度

- ※ 4 ピンネット工法は以下の4工法による
- (1) ポンドカーボピンネット工法
 - (2) ネットバリヤー工法
 - (3) GNSスーパーピンネット工法
 - (4) タケモルピンネット工法
- ※下線部分が変更箇所

- 外壁補修③⑤⑥
- 1 ケレン除去・水洗い高圧洗浄
 - 2 軒天外部改修塗料塗 水性ケンエース程度
(同下地調整共)
- 外壁補修⑦⑧
- 1 ケレン除去・水洗い高圧洗浄
 - 2 外壁可とう形改修塗料付塗 パーフェクトトップ共
(同下地調整共)

附記:	工事名	尾鷲(部)南浦第四宿舎外壁補修工事	担当	製図	図面No. 10 / 10 枚の内
	図面名	南立面図・東立面図	縮尺	1/100	